

## 学校教育自己診断結果データ分析（R元年度）

### 1. 自己診断配付数及び回答数

令和元年度回答人数

	教員	生徒	保護者	合計
配付	61	978	978	2017
回答	61	943	915	1919
%	100	96.4	93.6	95.1

### 2. 観点別肯定的回答割合

	R1年度	H30年度	H29年度	H28年度
<b>【保護者】</b>	肯定率(%)	肯定率(%)	肯定率(%)	肯定率(%)
①学校に対する意識に関するもの	92	92	93	95
②学習指導に関するもの	72	74	77	76
③生徒指導、児童・生徒理解に関するもの	85	84	89	86
④進路指導に関するもの	84	86	89	86
⑤いじめに関するもの	87	85	88	
⑥道徳教育・人権教育に関するもの	89	85	89	85
⑦情報提供に関するもの	78	84	81	78
⑧学校教育への参画に関するもの	78	76	78	80
<b>【生徒】</b>	肯定率(%)	肯定率(%)	肯定率(%)	肯定率(%)
①学校に対する意識に関するもの	81	83	83	84
②学習指導に関するもの	84	83	85	78
③生徒指導に関するもの	75	79	84	84
④進路指導に関するもの	87	89	89	88
⑤いじめに関するもの	84	83	85	
⑥教育相談に関するもの	68	69	70	66
⑦道徳教育・人権教育に関するもの	83	82	80	70
⑧特別活動、学校行事等に関するもの	91	91	94	94
<b>【教員】</b>	肯定率(%)	肯定率(%)	肯定率(%)	肯定率(%)
①学校組織に関するもの	80	83	78	79
②教育活動の改善に関するもの	75	79	73	79
③学習指導に関するもの	79	75	65	77
④生徒指導に関するもの	77	75	81	81
⑤進路指導に関するもの	85	92	90	93
⑥いじめに関するもの	95	90	86	
⑦教育相談に関するもの	92	85	86	89
⑧特別活動、学校行事等に関するもの	75	89	84	91
⑨保護者への情報提供に関するもの	75	80	75	81

### 3. 分析

#### 【学習指導】

- 「ICTを使った授業は分かりやすい」については、81%（H30：82%）とほぼ同じ割合であった。一昨年度設置されたICT機器を活用した授業が生徒の授業スタイルとして定着している。
- 「自ら考え、発表や表現する学習活動を行っている」について、生徒は85%（H30：データなし）となっており、「思考力を重視した問題解決的な学習指導」について教員は、79%（H30：75%）となっている。本年度、授業力アップPTで『生徒に表現力を身に付けさせるための組織的アプローチ』という成果で取り組んだ成果が着実に浸透している。

#### 【生徒指導】

- 「いじめについて困ったことがあれば真剣に対応」については、生徒は84%（H30：83%）、保護者は87%（H30：85%）教員は95%（H30：90%）と生徒、保護者、教員とも肯定的回答が上昇しており、「いじめアンケート」の複数回の実施や聞き取り、日常の生徒相談体制の整備など、組織的な対応が学校として進んでおり、次年度もさらにきめ細かい対応を行っていく。

#### 【進路指導】

- 「将来の進路や生き方について学ぶ機会、指導」については、生徒は87%（H30：89%）、保護者は84%（H30：86%）と肯定的な回答の割合が高いが、微減であり、さらに一人ひとりの適性に応じた進路指導を組織的に進め、三者面談の充実を行う。

#### 【国際理解・ボランティア】

- 「国際理解について学習したり国際交流に参加」については、生徒は86%（H30：83%）と肯定的な回答が3ポイント増加。家庭・地域等と連携しながらさらに内容を充実し、その成果を全生徒で共有していく。

#### 【学校運営】

- 「校内研修は教育実践に役立つ内容」についても、教員は87%（H30：88%）と肯定的な回答が高い水準で推移しており、授業改善や生徒支援、進路支援のための研修を外部の人材を活用しながら進めており、さらに生徒の教育内容の充実に活かしていく。
- 「授業公開や学校行事に参加」について、保護者は78%（H30：76%）と肯定的な回答が2ポイント増加し、今後も開かれた学校づくりを推進する。